

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス佐賀教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 7月 22日 ～ 令和7年 8月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 30日 ～ 令和7年 8月 19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員同士の連携が取りやすい環境にあります。	・職員同士、療育の合間に情報共有をしたり、カンファレンス以外の場でも、気になったことはその都度話し合いをしたりして、共通理解を図っています。 ・全体の動きを見ながら、自分の担当以外の療育の準備や片付けを手分けして行い、1日の流れがスムーズに行えるように取り組んでいます。	・職員同士の自主性に任せるだけでなく、事業所として療育数や空きコマを調整することで、職員同士が連携を取りやすい環境を作られるように努力しています。
2	・基本のプログラムがベースにあり、職員が流れを覚えやすいことです。また、教材が豊富なだけでなく、個々のニーズに合わせた個別支援課題を可能な範囲で入れることができます。	・療育の流れや課題の内容は決まっているため、言葉掛けや提示の方法、促し方やタイミングを工夫してします。	・個別支援計画を確認しながら、個々のお子様の対応を検討、実施、職員間で共有していくことで、療育の質を向上を図っています。
3	・毎回保護者様に支援場面を見ていただいております、療育の様子を見ながら話をしたり、療育の最後には担当した指導員と振り返りをしたりする時間があるため、共通理解を図ることができ、お子様の成長を一緒に感じられます。	・療育担当の職員以外が保護者様にお声掛けすることを意識しています。また、保護者様の意見を傾聴しながら、必要に応じて課題の共有や情報提供を行っています。	・職員一人一人が研修等に参加し学びを深めることで、保護者様との会話の中で、情報の提供や共有に繋がればと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の人員不足、フォロー体制についてです。	・年度初めから求人を出していますが、新規職員の採用ができていない状況です。 ・少人数の事業所で職員間の連携は取りやすいですが、職員の体調不良等で欠席者が出た場合、フォローが難しくったり、残っている職員への負担が大きかったりします。	・1日5コマで1コマ3療育の為、常時4名の指導員で業務ができれば、補助に入りやすかったり、休みやすかったりします。現在固定のコマ数を1コマ2療育にして、調整しています。
2	・食事や排せつなど、生活動作訓練の実施が難しいことです。	・1時間の個別療育の為、生活動作を行う課題に限りがありますが、可能な範囲で行えるよう、個別支援計画にも記載しながら行っていきたいです。	・生活動作や指先を使った課題の中で、引き続き可能な支援を行います。 ・保護者様からの要望やお子様の様子を見ながら、必要であれば日中支援型の事業所のご案内も行います。
3	・建物、構造上の問題が起きていることです。	・療育室の構造上、外で見ている保護者様同士の席が近くなってしまうことです。また、集団療育(2名～6名)の際に、中の声が聞き取りにくいだけでなく、中の様子が見えない保護者様がおります。 ・階段が外にあり、雨の日は階段が濡れてしまいます。エレベーターが設置されていますが、管理面や安全面の関係で使用ができず、雨の日や小さいお子様をお連れの保護者様には負担になっていると思います。	・なるべく同じ時間帯に利用者様が重ならないように、療育時間を調整していますが、3コマ入った場合は対応が難しいです。現在集団療育室にカメラを設置し、プレイルームで保護者様がプロジェクター越しに療育の様子が見られるように準備中です。 ・外階段については、濡れるのは構造上仕方がないため、滑り止め等を床に貼り、安全面に配慮した対応を行っています。